

第二六回新春懇談会を開催

日建連は一月二十六日、東京・大手町の経団連会館において新春懇談会を開催した。有識者や報道関係者と日建連幹部が懇親を深めるために開催している新春懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響による中止があったものの、今回で三六回を数える。

冒頭、一月一日に発生した令和六年能登半島地震の犠牲者とその遺族に対して黙とうを捧げた後、宮本会長から「被災地では、今も厳しい寒さのなかで多くの方々が避難



主催者挨拶をする宮本会長

生活を余儀なくされている。建設業界には、人や物資の輸送ルートの早期回復、ライフラインの復旧、被災者の方々の住まいの確保など、総力を挙げた対応が求められており、日建連は、地元の建設業者の皆さんとともに被災者・被災地への最大限の支援を全力で行う所存である」との発言の後、今後の日建連活動について「四月から適用される時間外労働時間の罰則付き上限規制への対応に向けた建設現場の四週八閉所の推進をはじめとした働き方改革



乾杯挨拶をする佐々木副会長・広報委員長

の強化、建設資材・労務費及び設備工事費高騰などへの発注者の理解促進に向けた活動、防災・減災、国土強靱化、インフラ老朽化対策をはじめとした積極的な公共投資の推進、建設技能者の処遇改善、女性活躍のための環境整備、カーボンニュートラルの推進と建設現場の安全確保など、建設業が「新4K」の業界となるような様々な事業を幅広く展開する」との挨拶があった。

続いて、佐々木副会長・広報委員長から最近の日建連活動を映像で紹介する旨の発言があり、「二〇二三年 日建連の活動」を放映した後、「日建連は、若者が希望や誇りを持って働くことができる、『新4K』の魅力ある建設業を目指して、これからも課題の解決に向けた取り組みを進める。引き続き支援を賜るようお願いする」と発言し、乾杯の発声を行って懇談に移った。



新春懇談会の様子

当日は三年ぶりに感染対策のない自由な懇談会であったことから、有識者や新聞・雑誌などの報道関係者と日建連会員などおよそ三〇〇名の出席者が熱心に意見交換し、盛会裏に終了した。

なお、日建連活動を動画で紹介した「二〇二三年 日建連の活動」は日建連ホームページで公開しているので、是非ご覧いただきたい。



「2023年 日建連の活動」の動画は上記二次元コードからご覧いただけます。



動画放映中の会場内の様子

「2023年 日建連の活動」で紹介した項目



担い手確保の取組み



働き方改革の取組み



積極的な公共投資の推進に向けた活動



広報活動



建設資材の価格高騰及び労務費上昇への対応



カーボンニュートラル実現に向けた活動と建設現場の安全確保対策